

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



ふくし“きらり人。”を任命！ ～福祉の仕事の魅力を一言で！～



ふくし“きらり人。”（上段左から）深谷さん・西口さん（下段左から）諏訪さん・間宮さん

Contents

- 2 ～ 3 ・介護、保育の再就職貸付金のご案内
・ソウェルクラブのご案内 ほか
- 4 ～ 5 平成 29 年度事業実績報告・決算
平成 30 年度事業計画・予算
- 6 ～ 7 地域福祉活動レポート
守谷市高野地区地域福祉活動計画実行委員会
(守谷市)
- 8 ～ 9 ふくし“きらり人。”
古河市・社会福祉法人芳香会
水戸市・社会福祉法人縦山会

10 市町村社協職員リレートーク

11 インフォメーション

12 わかち合おう小さな善意

ふくし“きらり人。”とは一福祉の仕事に対するイメージアップを図るため、福祉施設や事業所で働く方や福祉を学ぶ学生のうち、きらりと輝く人物を“きらり人。”として任命します！今後、“きらり人。”には、県社協の実施する事業を通じて福祉の魅力を伝えていただく予定です。

はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。



ふれあいネットワーク



社会福祉
法人

茨城県社会福祉協議会

各種事業のご案内

● 資格を生かした再就職に貸付金をご利用ください！ ●

介護や保育の資格をお持ちの方が、事業所や保育所などに再就職するための資金を貸し付けています。

区分	貸付金の名称	貸付金額	必要な資格等	貸付対象者
介護	離職介護人材再就職準備金貸付金	上限 40 万円	介護福祉士・実務者研修修了者・介護職員初任者研修修了者のいずれか	介護職の実務経験 1 年以上（再就職前に茨城県福祉人材センターに登録が必要）
保育	潜在保育士就職準備金貸付金	上限 40 万円	保育士	保育所等に 1 年以上勤務していない保育士
	未就学児保育料貸付金	保育料の半額 1 年間（月額上限 2 万 7 千円）	保育士	未就学児がいて、新たに保育士として勤務している方、又は産休・育休から復帰した保育士

* 必要な資格・貸付対象者は上記以外にも要件がありますので、詳細はお問い合わせください。

☎ 福祉人材・研修部（人材自立育成担当） TEL：029-350-8366

● ふくし職働のご案内 ふれあってくらしを支える しあわせな 職業 どう？ ●

「ふくし職働」では、福祉の仕事を希望する方や、福祉の仕事をされている方をお手伝いするために、各種講座や自由に話せるサロンを開催しています。福祉の仕事に関心があれば、どなたでもご参加いただけます。

7 月の講座 8 月以降の講座は、県社協のホームページに掲載しています。

- ✓ **暮れ六つ講座（原則毎月第 2 火曜日）**
7 月 10 日（火）18：00～20：00／すぐ役立つ初心者のための介護入門 ～食事介助～
- ✓ **木になる講座（原則毎月第 4 木曜日）**
7 月 26 日（木）13：30～15：30／アロマで笑顔に 介護アロマ講座
- ✓ **おひさま講座（原則毎月第 3 金曜日）**
7 月 20 日（金）13：30～15：30／すぐ役立つ初心者のための介護入門 ～薬の上手な使い方（認知症・高齢期）～
- ✓ **仕事とこころの相談・夕暮れしゃべり場（毎月第 1・3・5 水曜日）**
7 月 4 日（水）・7 月 18 日（水）（仕事とこころの相談）15：00～18：00（夕暮れしゃべり場）18：00～20：00
参加費：無料 開催場所：茨城県総合福祉会館 2 階 茨城県福祉人材センター内「ふくし職働」ルーム

☎ 茨城県福祉人材センター TEL：029-244-4544



平成30年度 福祉の就職フェア

**参加
無料**

県南

開催日 平成30年8月 18日(土) 12:00開始
会 場 茨城県県南生涯学習センター

県央

開催日 平成30年8月 12日(日) 12:30開始
会 場 ホテルレイクビュー水戸

● 福利厚生センター会員交流事業及び地域開発メニューのご案内 ●

福利厚生センター茨城では、会員の皆様向けに下記の会員交流事業及び地域開発メニューを企画しております。企画の詳細につきましては、今後送付するチラシまたはソウェルクラブホームページをご覧ください。

○現在企画・実施している会員交流事業（一部抜粋）

実施日	事業名
8月3日（金）～8月4日（土）	長岡花火大会
9月8日（土）	ディズニーランド・ファンパーティ
10月27日（土）～10月29日（月）	北海道（2泊3日）
11月10日（土）～11月12日（月）	新幹線で行く 秋の京都2泊3日
11月23日（金）	ワインの夕べ

○現在企画している地域開発メニュー

★常備薬幹旋販売（年4回） ★丸大食品 お中元・お歳暮の特別販売のご案内

☎ 福祉事業部 TEL：029-244-3147



● 茨城県民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度のご案内 ●

県社協では、民間社会福祉施設職員の福利増進を図り、社会福祉事業の振興に寄与するため、退職手当支給制度事業を昭和47年3月から運用してまいりました。

今回、制度発足から長年が経過し、就労環境が変化したことなどを踏まえ、事業者の掛金負担率（13/1,000）は維持しつつ、掛金類型額と給付のバランスを10年に短縮するなど、より公平感のある制度とするための改正を、平成30年4月1日付けで行いました。

制度の内容等をお知りになりたい事業所の経営者様は、問い合わせ先までご連絡ください。

☎ 福祉事業部 TEL：029-244-3147

● 苦情解決事業実績について ●

運営適正化委員会では、福祉サービスのサービス内容に関する疑問や不満などの相談を受け付けています。

平成29年度は、苦情が68件、相談が15件でした。中でも多かった苦情は、サービス内容についての苦情で、職員の接遇やサービスの質や量に関する内容が55件と苦情件数の約8割を占めていました。

相談受付は、月曜日から金曜日の9時から16時まで（土、日、祝日は休み）です。

相談は無料で、プライバシーは厳守いたします。お気軽にお電話ください。

また、電子メールでの相談も受け付けております。

☎ 運営適正化委員会事務局 TEL：029-305-7193 / E-mail tekisei@ibaraki-welfare.or.jp

● 経営改善支援研修会(人事管理研修)・レクリエーション基礎講座の開催について ●

社会福祉法人経営者の方を対象とした「経営改善支援研修会（人事管理研修会）」を11月30日（金）、福祉施設職員の方を対象とした「レクリエーション基礎講座」を9月11日（火）と9月12日（水）に開催を予定しています。研修会の詳細につきましては、決まり次第本会ホームページでご案内いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

☎ 福祉事業部 TEL：029-244-3147

平成 29 年度事業実績報告・決算

国では、様々な福祉課題に対応していくため、「他人事」になりがちな地域づくりを、地域住民が「我が事」として主体的に取り組んでいくための仕組み作りや、地域の課題を「丸ごと」受け止める体制整備を進めようとしています。

このような状況を踏まえ、県社協は、「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」のため、引き続き、行政、市町村社協をはじめ、社会福祉関係機関・団体等とさらなる連携強化を図りながら各種事業を展開しました。

県社協の主な取り組み

- はんどちゃんネットワーク運動やボランティア・市民活動の支援と市町村社会福祉協議会のスキルアップ
- ねんりんスポーツ大会等の開催による高齢者の健康・生きがいづくりの推進
- 生活福祉資金貸付や福祉サービス利用の援助等を通じた生活困窮者自立支援の推進
- 職業紹介や福祉職の魅力の周知、修学資金貸付事業などによる福祉・介護・保育分野の人材確保
- 福祉に従事する人材の資質の向上
- 災害ボランティアセンター運営に係る職員の資質向上

平成 29 年度一般会計決算報告

【収入の部】

(千円)

勘定科目	決算額
会費収入	21,961
寄附金収入	7,543
経常経費補助金収入	298,603
受託金収入	258,824
事業収入	518,639
負担金収入	13,202
受取利息配当金収入	101,443
その他の収入	14,358
貸付資金補助金収入	750,196
積立資産取崩収入	190,144
生活福祉資金会計繰入金収入	614
事業区分間繰入金収入	5,832
拠点区分間繰入金収入	17,614
サービス区分間繰入金収入	14,118
前期末支払資金残高	83,803
収入合計	2,296,894

【支出の部】

(千円)

勘定科目	決算額
人件費支出	285,902
事業費支出	926,546
事務費支出	31,998
分担金支出	1,460
助成金支出	100,499
負担金支出	15,387
固定資産取得支出	789
基金積立資産支出	3,400
積立資産支出	763,243
事業区分間繰入金支出	5,832
拠点区分間繰入金支出	17,614
サービス区分間繰入金支出	14,118
その他の活動による支出	8,718
予備費支出	0
当期末支払資金残高	121,388
支出合計	2,296,894

地域づくりの輪を広めるー
福祉コミュニティづくり推進のつどい

様々なサロン活動に触れ、自分のサロンのイメージを膨らませるとともに、地域の福祉課題解消のために一歩を踏み出す仲間づくりのきっかけとして開催しました。



3月2日開催「福祉コミュニティづくり推進のつどい」には200名を超える方が集まりました。

ふくしの人材確保を目指してー
ふくし”きらり人。”

より広く福祉の仕事に対するイメージアップを図るため、県内の福祉施設・事業所に勤務する職員や、県内の学校の福祉系学科で学ぶ学生などのうち、やりがいを持って福祉の仕事・勉強に取り組む人材を募集し、“きらり人。”として広報誌やホームページ、事業等を通じて紹介しました。



ふくし“きらり人。”第2号となった成華園のみなさん

急速に少子高齢化が進行し、地域でのつながりが希薄化する中、老々介護や認知症問題をはじめ、増加する単身高齢者への支援や子どもの貧困問題、子育て支援や障害者支援など、福祉の課題は広範かつ複雑、深刻になっています。このような状況を受け、国では、地域共生社会実現に向けた取り組みが進められています。

県社協は、平成25年度に策定した第4次地域福祉活動推進プランに基づき計画的な事業展開を図ってきましたが、その最終年度を迎え、活動の充実等をさらに図ってまいります。

みんなでつくる地域の幸せー はんどちゃんネットワーク運動 第3期へ

「いつでもどこでも誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティ」づくりを進める「はんどちゃんネットワーク運動」が、21年目、第3期に入り、これまで同様の“居場所”としてのサロンの他、地域の多様な課題に取り組む「ご近所助け合い型」サロンの普及にも積極的に取り組んでまいります。



新たな目標に向けてー 新たな地域福祉活動推進プランの策定

県社協が目指すべき方向、担うべき役割や取り組むべき課題等を明らかにし、市町村社協をはじめとする関係機関・団体等と連携・協働のもと、地域福祉を総合的に推進するための指針としています。新たなプランでは、地域とともに創っていく社会「地域共生社会」の実現に向けて地域福祉を推進していくプランとする予定です。



重点目標

- 住民参加と福祉コミュニティづくりの推進
- 福祉サービス利用者への支援
- 社会福祉事業の充実・活性化への支援
- 新たな生活課題への対応
- 県社協の組織の充実

平成30年度一般会計予算

【収入の部】 (千円)

勘定科目	予算額
会費収入	22,250
寄附金収入	8,330
経常経費補助金収入	297,785
受託金収入	251,991
事業収入	81,702
負担金収入	13,634
受取利息配当金収入	102,247
その他の収入	11,870
貸付資金補助金収入	766,183
積立資産取崩収入	10,930
生活福祉資金会計繰入金収入	673
事業区分間繰入金収入	659
拠点区分間繰入金収入	10,547
サービス区分間繰入金収入	24,729
その他の活動による収入	769,224
前期末支払資金残高	66,876
収入合計	2,439,630

【支出の部】 (千円)

勘定科目	予算額
人件費支出	295,852
事業費支出	1,039,055
事務費支出	43,415
分担金支出	1,860
助成金支出	100,693
負担金支出	7,044
施設職員退職手当事業支出	19,358
固定資産取得支出	1,262
基金積立資産支出	2,622
積立資産支出	11,292
事業区分間繰入金支出	659
拠点区分間繰入金支出	10,564
サービス区分間繰入金支出	24,730
その他の活動による支出	853,644
予備費支出	27,580
支出合計	2,439,630

はんどちゃんネットワーク運動
地域福祉活動
レポート!

平成30年5月7日取材



守谷市高野地区地域福祉活動計画実行委員会 「3つのチームで地域をサポート」 ～地域のつながり、 絆づくりを目指して～

楽しむことが大切

守谷市高野地区地域福祉活動計画実行委員長を務める田尻昭二さんは、「私たちのボランティア活動の指針は『楽しむ』『コンプライアンス遵守』『リスク管理』の3つとしています。そのなかでも、特に私たちが最も重視していることは、私たち自身が『楽しむ』ことです。実際に活動をサポートする私たちが楽しめないと、参加者の子どもたちや高齢者も楽しくはないでしょうから。それが活動を長続きさせる秘訣でもあるんです。」と語られました。今回は、その活動を紹介して頂きます。



(前列右から) 委員長の田尻さん、副委員長の染谷さん、(後列左から) 正木さん、吉岡さん、守谷市社会福祉協議会の小林さん

3つのチームが幹となり活動を支える

その『楽しむ』活動では、実行委員49名の皆さんが地域の課題を話し合い、3つの課題に絞り、課題解決に向け取り組むためのチームを立ち上げました。

・地域をみんなで見守る

まず一つめは、見守りチームによる子どもから高齢者までを見守る活動です。

ここ守谷市は、つくばエクスプレス開通などに伴い、急激に街が拓かれ、この少子化の時代にもかかわらず子どもが増えると同時に、高齢化も急激に進みつつあるのが現状です。そんな増え続ける子どもたちや高齢者を「私たち自身の手で未然に事故や犯罪から守ろう」ということから始まったのが、この活動です。

まず、手がけたのは、防犯意識を高める講演会。

次に着手したのが、子どもたちのための見守りマップの作成。マップ作成に際しては、この地域の防犯連絡員や110番の家として登録されている約130件や公共施設などを、子どもたちに見やすく色分けしたカラー地図にしました。

それにより、子どもたちは万一の際、どこへ駆け込めばいいのか一目瞭然。さらに相乗効果として通学路の安全確認など、子どもや保護者が改めて自分たちの住む地域がどんな街なのかを理解し、同時に、防犯連絡員や110番の家などの方々の意識の向上にもつながったそうです。学校においても、防犯まち探検などでの活用などを検討しており、これからもマップを利用実態に即した内容にしていくため、アンケートなどを実施してより利用価値などを高めたいと、田尻さんは話されています。



見守りマップを子どもたちに贈呈。万一の時は無い方がいいのですが…。

・子どもたちにさまざまな体験を

二つめは、ネットワークチームによる子どもヘルパー活動です。

この活動を取りまとめられている副委員長の染谷桂子さんは、「私たちの地域にもサポートを必要としている方々が少なからずおられます。そんな方々を地域全体で支える意義を、地域の子どもたちにも知ってもらい、その認識を深めてもらおうというのが活動の発端でした。地区内の小学校4年生児童から希望者を募り、子どもたち自らがヘルパーとして活動します。

具体的には、手話ソングを通して手話の学習、地域の夏祭りでのボランティア参加、特別支援学校の子どもたちと障がい者スポーツを一緒に楽しんだり、リハビリや介助サポート体験などの活動を行ったりしています」と話されています。



地区敬老行事に参加。世代間交流も積極的に行いました。



揃いのエプロンに身を包み、リハビリ体験で介護学習。介護を身近に感じることができました。



特別支援学校地区会の交流事業に子どもヘルパーも参加し一緒に障がい者スポーツを楽しみました。

この活動により、子どもたちの福祉への意識は確実に向上しつつあるそうです。この活動を開始して7年目、1期生の子たちは高校生となり、この活動で深めた認識から、自らの進路に福祉の道を選ぶ子も少なくないとのこと。また、この活動に参加した修了生の子どもたちの中で、街で困っている車いすの方の手助けをし、感謝されるといった事例もあったのだそうです。

このような意義ある活動ですが、すべてがうまくいっている訳ではありません。「この地域特有の事情でもあるのですが、小中一貫して活動を行いたいと考えていても私立中に入学し地域を離れてしまう子どもたちも少なくありません」と、染谷さんは活動が一筋縄ではいかないご苦労を話されていました。

・地域の居場所“サロン”を広める

三つめはサロンチームによるサロン活動です。

地区内で活動している13か所のサロンは、それぞれ特色のある活動を行っている、サロンチーム・サブリダーの吉岡京子さんは語ります。自治会の公民館・集会所などを利用し、週に2日ほどシルバー体操や介護予防の講習、なかには手芸や料理といった趣味講座も行うサロンもあります。それぞれが独自に個性ある活動を実施し、参加者自身も工夫を重ねながら活動していますが、ただ、参加者が女性に偏っていることや、リーダーとなる後継者がいないことなどの課題もあるとのこと。

今後は、先進事例や互いの活動紹介など、活動に役立つガイドブック作成などの検討もしていると話されていました。



健康講座で体力測定。健康増進はまず自分のカラダを知ることから。



懐かしい歌を唄いながら、体を動かすという健康維持のための「うたごえ」体験。

自分たちの街は自分たちで！

この活動のサポートをする守谷市社会福祉協議会の小林さんは「この活動の意義はやはり、地域の皆さんが自分たちで考え『自分たちの街は自分たちで』を前提としていることです。やらされ感いっぱいだと活動は閉塞してしまいます。押し付けではなく自主的に、そしてその地域ごとの色を大切に活動していってもらえば、より意義のある活動ができるでしょう。私たち社会福祉協議会はそのような活動をサポートしたいですね」と期待を膨らませ、熱く語られました。

課題を乗り越え、より活動を深めるために

実行委員長の田尻さんは「三つのチームが幹となり活動を進める私たちですが、前述のように課題も少なくありません。そんな課題を少しずつ解消し、質の向上につなげていきたいと考えております。折り良く今、同地区に市が設置するまちづくり協議会設立準備委員会が発足しましたので、地域の横のつながりがより深まることを期待しています。例えば、防災活動であれば地域の消防団、見守り活動であれば小学校のおやじの会やシニアクラブなど、色々な方と連携を図りながら活動を充実していきたいと考えております。冒頭にもお話ししましたとおり、楽しんでやることは変わらぬ約束ごとです。無理をせず少しずつ何事も慎重に取捨選択しながら、地域のためにお手伝いいただける人をひとりでも増やしていきたいと考えております」と思いを語って頂きました。

守谷の街に根付く地域活動の輪はこれからも広がり続け、より充実したものとなることでしょう。

就業希望者には助成制度あり★

介護職員初任者研修

受講料：65,000円(税別、テキスト代込)

リピーターの多さが自慢

三幸福祉カレッジが選ばれる理由

★安心の無料就職フォロー

・求人紹介 ・履歴書添削
・面接練習 ・面接同行/面接後フォロー

★充実の受講サポート

・無料振替可能 ・修了(再)試験無料
・ベテラン講師の経験談で楽しく役立つ授業

三幸福祉カレッジ 水戸教室

水戸市泉町1-2-4 水戸泉町第一生命ビル4階 0120-294-350(平日8:50~19:30)

説明会参加で受講料10%割引！

説明会日程はコチラ

広告

2019年1月介護福祉士受験用の受講申込は8月末が最終締切!!

介護福祉士実務者研修

受講料：89,990円(税別、テキスト代込)

(ヘルパー2級/初任者研修修了者)



新たな ふくし “きらり人。” を任命しました！ ～きらり人が答える福祉の魅力～

- ①今は保育士として、3歳児の子どもたちの担任をしています。現在、保育士になって4年目です。
- ②もともと幼い頃から保育士になりたいと思っていたのですが、より大きな意味での福祉というものに興味を持ち、大学では社会福祉を学びました。卒業後は福祉分野ではない一般企業に就職したものの、やはり小さい頃から憧れのあった保育士という職業に就きたいと思い、保育の専門学校に入りなおして学び、今の職業に就きました。
- ③子どもたちの成長を1番近くで感じられることですね。子どもたちは日に日にできることが増えていって、その喜びを身体や表情で表現してくれるので、それを間近で見られるのはとても嬉しいです。悩んだ時にはアドバイスをくれる先輩方もいるので、相談しながら日々子ども達に接しています。
- ④とにかく毎日が楽しいです。子ども達一人ひとりをよく見て、その子に合わせた接し方をするのは難しくもありますが、少しずつ子どもたちの表情や言葉から、何を感じているか分かるようになってきました。福祉の仕事は、人が好きなら楽しいと思います。私も一度は他の業界に行きましたが、今はこの職を選んで良かったなと思っています。



社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 たま保育園
保育士 ^{ふかや さおり} 深谷 沙織さん



ふくし “きらり人。” に聞きました！



社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 芳香会病院青嵐荘療育園
看護師 ^{すわ ゆみ} 諏訪 有美さん

- ①重症心身障害児者が入所する施設で看護師として勤務し、利用者の日常生活の介護や、重症な方に対する医療ケアのお手伝いを行っています。看護学校を卒業して入職2年目です。
- ②高校生のころ、参加した病院見学で、重症な方の足浴をする機会がありました。その際に患者様からあたたかい言葉をもらって、こんなにやりがいがあるのかと感じて看護師を目指しました。そこから見学や実習で様々な病院や施設を見ましたが、特に重症心身障害児者が入所する施設は、病院と異なり長い間入所する生活の場なので、利用者と深い関わりを持ち、信頼関係を築いていける点に惹かれました。
- ③利用者一人ひとりの特性というか、個性の違いを知っていくことが楽しいです。また、入職して1年経って、利用者にも覚えてもらうことができたなど、信頼を築けたからこそその対応を見せてくれたと感じる時も嬉しいです。利用者に関わっている時の笑顔や、普段は見せてくれないような表情を見せてくれた時がやりがいになっています。
- ④やはり人とじっくり深く関わって、信頼関係を築くことができることです。こういう仕事でなければできないことだと思います。

- ①身体に障がいのある方等が利用する施設で生活支援員として勤務し、9年目となります。生活面の介護のほか、利用者のお話を聞いて、その方が望む暮らしを実現するためにはどのような支援をすれば良いのかを考えています。
- ②工業高校を卒業し、工場等で働いていましたが、自分のやりたいことを考えていました。その時に知人から介護福祉士という資格があることを聞き、介護の現場に興味を持ったのがきっかけです。まずはヘルパー2級の勉強をしたのですが、その際に実習先の方からあたたかい言葉をかけてもらったことも後押ししてくれました。
- ③利用者の中には、言葉でのコミュニケーションが難しい方もいますが、毎日接する中で、少しずつ表情やジェスチャーなどからその方の伝えたいことが分かるようになり、コミュニケーションが取れた時にはとてもやりがいを感じます。利用者との関わりの中で、同じ職場のみんなと意見を出し合い、試行錯誤しながら、利用者の素顔が見られた時は、とても嬉しくなります。
- ④自分の対応がどうだったのか、利用者の反応からすぐに分かるところです。また、利用者のことを考え、寄り添うことは、自分自身も高めてくれていると感じています。

社会福祉法人^{ほうこうかい}芳香会 ^{せいらんそう}青嵐荘つくし園
にしぐち けいぞう
生活支援員 **西口 恵三さん**



- ①現在、どのような仕事をしていますか？
- ②現在の仕事に就いたきっかけは何ですか？
- ③現在の仕事をされていて、やりがいを感じるのはどんな時ですか？
- ④福祉の仕事の魅力は何だと思えますか？



社会福祉法人^{もみやまかい}樫山会 ^{けやき}特別養護老人ホーム樺倶楽部
まみや みゆ
栄養士 **間宮 未悠さん**

- ①栄養士として、利用者に元気になってもらえるような食事を提供するほか、利用者と一緒に料理をする「料理倶楽部」など、より食を楽しんでいただくための企画を実施しています。同法人の他施設での勤務も合わせて3年目です。
- ②祖母が倒れてしまった際に、医師から食生活の改善をするようにアドバイスを受けたことがありました。私はおばあちゃん子だったので、自分が栄養を勉強して、祖母の身体をケアする食事を作りたいと思い、栄養士を目指しました。
- ③利用者と一緒にクレープや焼うどんなどを作る「料理倶楽部」で利用者といろんな話ができる時が楽しいです。また、季節の行事や、アフタヌーンティーなどのイベントで食事を提供する時には、「喜んでくれるかな」と思いながらその準備や盛り付けをしている時も楽しく作業をしています。
- ④自分が提供した食事に対して、利用者が「美味しかったよ」と声をかけてくれたりして、すぐに反応が分かるところが魅力です。今の職場は、利用者がたくさん交流できるので励みになります。今後は食事を通じて、もっと明るい施設にできればいいなと思っています。

ふくし “きらり人。” の活躍にご期待ください！



「ご無沙汰してます。最近どうよ?」と坂東市社協の吉岡さん。電話をしてくるということは、なんらかの情報収集か? はたまた頼み事か? …「県社協から出ているいばらきの社会福祉っていう広報誌知ってる? 断れないらしいよ。」…「はい、はい、書かせていただきます。」と言ったものの何を書けばいいのやら…

さて、大洗町のサロンに参加している方の中でブームになっているニュースポーツを紹介したいと思います。

大洗町社協では生きがいと健康づくり、住んでいる身近な地域で自主的な活動を行う地域コミュニティの場として元気づくりサロンを立ち上げました。主に高齢者の方々が集まって、軽い体操や食事会、お花見などの外出や地域の情報収集のためのおしゃべりを行っています。サロン活動のひとつの楽しみとして、誰もが気軽にでき、ドキドキするようなゲーム性があり、参加者全員が楽しめるものはないかと、連日連夜、社協内で検討会を開催しました。

そこで出会ったのがニュースポーツの「スカットボール」でした。「スカットボール」がどんなスポーツかと言

うと、パターゴルフみたいな、ゲートボールみたいな感じで、スティックでボールを打ち、的となる台の穴にボールを入れるという、シンプルなスポーツです。微妙な力加減と運・不運にも左右され、上手に打っているけど入らない、狙った穴に入りそうで入らない。しかし、ボールが穴に入ると、「スカットボール」のネーミングの通り「スカット」するスポーツです!!

昨年度は、7月の暑い時期にもかかわらず、大勢の参加者が集まり、「大洗町長杯スカットボール大会」を開催することができました。各サロンごと自分たちでチーム分けをしていただいたことにより、身近な方との交流が深まり、さらなる地域力が高まったイベントになりました。全球入るパーフェクトもたくさん出て、暑さを吹き飛ばす「スカット」を連発していました。

この「スカットボール」の最大の魅力は、子どもからお年寄りまで誰でも一緒に楽しめるスポーツだと思います。ぜひ、みなさんも『みんなで一緒に楽しめるスポーツ・スカットボール』の魅力と楽しさを味わっていただきたいなと思います。



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

平成30年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入!!

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	1,400万円
	後遺障害保険金		1,040万円 (限度額)	1,400万円 (限度額)
	入院保険金日額		6,500円	10,000円
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
		外来の手術	32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の 各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)

タイプ	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

INFORMATION

募集

きずなBOXを 設置しています！

生活困窮者支援団体等への安定的な食品確保のため、NPO 法人フードバンク茨城と連携し、茨城県総合福祉会館の1階に「きずなBOX」を設置しています。

家庭で余っている食品などを「きずなBOX」に持ち寄っていただき、集められた食品などをフードバンクが回収し、福祉団体や施設、市町村社協を通じて生活困窮家庭などに配分しています。

皆様のご協力をお願いいたします。

■食品などをお持ちになる際の 注意事項

- *食品は常温管理できるもので未開封、賞味期間が2か月以上残っているものをお願いします。
- *生活困窮者への支援に必要な、缶詰・レトルト食品などすぐに食べられる「おかずになる」食品が不足しています。



昨年1年間で、56.8kgの食品が集まりました！ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！

お知らせ

サロンコンサートを 一度、観にきませんか

総合福祉会館1階県民サロンにおいて、ボランティア演奏家による「サロンコンサート」を毎月開催しています。

懐かしい名曲やクラシックなどをお聴きいただけます。

お昼のひとときを総合福祉会館でお過ごしになってはいかがでしょうか。



■開催日時・内容・出演

6月28日(木)

時間：12時10分から13時

演目：ヴィオリラ・ピアノ

出演：佐々木静江・橋本道子
山本亜季子

7月3日(火)

時間：12時10分から13時

演目：ピアノ・琴・唄

出演：ルネッサンス雅

■会場

茨城県総合福祉会館

1階県民サロン

(水戸市千波町1918)

☎ 茨城県総合福祉会館

TEL：029-244-4545

募集

本会会員を 募集しています！

県社協の趣旨・目的にご賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

・正会員

県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等

・賛助会員

県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の規程に従い、所定の会費を納入していただきます。

■会員特典

- ①県社協の実施する「社会福祉事業従事者研修」について、優先的に申し込むことができます。また、一部の研修を除いて、1日の受講料が非会員に比べて2,000円安くなります。
- ②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

☎ 総務企画部

TEL：029-241-1113

茨城県総合福祉会館 ご利用案内

茨城県総合福祉会館のコミュニティホール（定員296名）や各種研修室は、一般の方にも貸し出しを行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

また、駐車場の混雑状況はホームページでご案内しておりますので、ご来館の際の参考としてください。

茨城県総合福祉会館

検索



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL.029-244-4545 FAX.029-244-4548

わかち合おう小さな善意 ～みなさまからのあたたかいご支援を紹介します～

わかち合おう小さな善意 < 平成 30 年 1 月～平成 30 年 3 月善意金等の預託と払い出し状況 > (敬称略)

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
(株) 明送	100,000
合計	100,000



善意金

預託者名	金額 (円)
茨城新聞文化福祉事業団	1,500,000
積水メディカル労働組合	70,000
丸大食品 (株)	8,177
(株) ライズ	2,974
茨城県ばら切花研究会	30,000
茨城県 P T A 連絡協議会	500,000
合計	2,111,151

善意品

預託者名	善意品	払出先名
一般社団法人生命保険協会茨城県協会	福祉巡回車 3 台	県内市町村社協
リスカ (株)	いちごシュー 12 袋入り3箱・ビッグチョコ 20 袋入り2箱 納豆チップル 12 袋入り×3箱	県内社会福祉施設
(株) アルプス技研	車いす 10 台	県内社会福祉施設
(株) ツルハホールディングス クラシエホールディングス(株)	車いす 10 台	県内社会福祉施設

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名	預託者名	預託者名
(株) 常南部品商会	金澤 百花	(株) 明送
津幡 幸博	玉村 和子	小林 佳代子
(株) サンアメニティ 茨城支社	三井住友海上火災保険 (株) 茨城支店	茨城県企業局 水質管理センター
(株) 平山ピアノ社	常陽ボランティア倶楽部	水戸緑岡郵便局
日立市立大みか小学校平成 29 年度 4 年生	茨城県信用保証協会	茨城県保健福祉部 福祉指導課
茨城県保健福祉部子ども政策局 子ども家庭課	茨城県保健福祉部子ども政策局 少子化対策課	茨城県保健福祉部 長寿福祉課

社会福祉協議会 (高萩市、かすみがうら市、利根町、潮来市、神栖市、小美玉市、笠間市、茨城町、ひたちなか市、常陸大宮市、稲敷市、土浦市、日立市、古河市、龍ヶ崎市、取手市、鉾田市、石岡市、常陸太田市、阿見町)

お預かりした使用済み切手の分別・整理にボランティアの野木さん (那珂市) のご協力をいただいております。



(株) 明送



積水メディカル労働組合



茨城県 P T A 連絡協議会



(一社) 生命保険協会茨城県協会



(株) アルプス技研



(株) ツルハホールディングス
クラシエホールディングス(株)

平成 29 年度の各基金の払い出し (配分) 状況についてご報告いたします。

ボランティア基金

	助成金額
ボランティア団体助成 (9 団体)	1,541,819 円
市町村社協ボランティアセンター助成 (35 社協)	8,737,284 円
合計	10,279,103 円

平成 29 年度 使用済み切手・使用済みカード等寄付の換金結果

使用済み切手	572,200 円 (約 3,814,666 枚)
使用済みカード	9,000 円 (約 25,714 枚)
合計	581,200 円

※これらについては、ボランティア助成事業として活用させていただきました。

交通遺児福祉基金

	金額
就学奨励金 (合計 25 名)	1,650,000 円
小学校卒業 10 名・中学校卒業 15 名	

善意金

	金額
指定払い出し	7,521,157 円
団体助成	850,000 円

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI



発行者 / 社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL: 029-241-1133 (代)

FAX: 029-241-1434

ホームページ <http://www.ibaraki-welfare.or.jp>

Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>

E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp